

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 ウッドワン

上場取引所 東

コード番号 7898

URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 藤田 守

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	51,166	7.7	2,284	△17.6	1,189	△27.0	1,308	16.4
25年3月期第3四半期	47,496	△2.7	2,771	△4.3	1,628	△17.5	1,124	△16.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,451百万円 (29.2%) 25年3月期第3四半期 3,444百万円 (236.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.03	—
25年3月期第3四半期	24.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	98,113	44,024	42.0
25年3月期	93,743	39,914	40.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 41,184百万円 25年3月期 37,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
26年3月期	—	3.75	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,500	7.0	3,300	1.8	1,600	△19.9	1,200	△56.3	25.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	49,209,846 株	25年3月期	49,209,846 株
26年3月期3Q	2,549,371 株	25年3月期	2,546,340 株
26年3月期3Q	46,662,360 株	25年3月期3Q	46,664,687 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済・金融政策（いわゆるアベノミクス）をうけて円安や株高が進行し、輸出関連を中心に企業収益が改善すると共に、個人消費についても徐々に回復の兆しが見受けられました。

住宅業界におきましては、住宅ローン減税・地域型住宅ブランド化事業や省エネ化への補助金制度等に加え、平成26年4月の消費税増税に向けての駆け込み需要や東日本大震災の復興需要から、新設住宅着工戸数は16ヶ月連続で前年同月を上回り回復傾向にありました。

当社グループは、将来の人口・世帯数減少による『新設住宅着工戸数減少の時代を勝ち抜く為、全社の経営資源を結集し、最大活用する』を基本方針として、『新しい商品・新しい発想・新しい提案での新しい顧客開拓と需要創造』による抜本的営業革新を目指し、森林認証（※）を取得しているニュージーランドの森林資源を活用したピノアースシリーズを中心に、新製品・新サービスの投入により新築市場に加えてリフォーム市場の更なる開拓を図っております。

平成25年4月に広島・大阪において新装オープンしたショールームでは、“無垢の木のぬくもりある暮らし”を発信するショールームとして、無垢キッチン「スイージー」を主体に、床、内装建具などとトータルコーディネートすることで、お客様が実際の生活空間をイメージしやすいルームを再現して好評を得ています。

木質建材では、「ピノアースシリーズ」や同シリーズからデザインを新たに厳選し、求めやすい価格とした製品群「ナチュラルセレクション」などのFSC認証製品、ソフトアートシリーズの「シンプルセレクション」、認証基材を使用した環境配慮型のフローリングなどの売上げが伸びました。リフォーム用として無垢フローリング「ピノアース6mm」、内窓で国内初のFSC認証製品である無垢の木製内窓「MOKUサッシ」、断熱改修を手軽に実現可能とするリフォーム用断熱改修パネル「あったかべ」、簡単に無垢材の素材感が味わえる無垢カーペット「びたゆか」、内装床材では、厚貼りフローリングの手作り工芸調床材コンビットクラフトシリーズ、階段では、職人不足対策や工期短縮を実現するセットオン階段「Light」等、ニーズに応える様々な商品展開を行い拡販しました。また、平成25年12月には、国産材を活用した木材利用ポイント対象フローリング「コンビットエコヴェルデ」を発売しました。

住宅設備機器では、住宅のドアや床材などの内装材とトータルコーディネートできることで好評の無垢キッチン「スイージー」に、ニュージーパイン、メイプル、オークに加えて、新たにウォールナットを追加し、無垢の樹種が4種類から選べるようになりました。平成25年11月には、ニュージーパインの無垢扉を採用した特別仕様の限定プラン「スイージートリコ」を投入し、売上増強を図りました。さらに、この無垢キッチン「スイージー」のシリーズとして、手で「触れなくなる」ような木の質感が漂う家具をテーブル、ベンチ、スツールに展開した「スイージーファニチャー」を発売しました。

また、海外の関連子会社を含めた新たな加工・流通・販売体制の構築を行い、成長著しいアジア市場など海外向けの売上増大に努めています。

当社グループでは、このような施策を行い、販売数量の増加による売上増加や製造コスト削減に努めましたが、急激な為替レートの変動により、海外子会社の収益に影響を与えました。

この結果、連結売上高は、51,166百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益2,284百万円（前年同期比17.6%減）、経常利益1,189百万円（前年同期比27.0%減）、四半期純利益1,308百万円（前年同期比16.4%増）となりました。なお、特別利益の固定資産売却益887百万円は、主に階段工場2課の土地を平成25年8月30日に株式会社イズミへ売却したことによるものです。さらに特別利益の為替差益として、急激な為替変動の影響により発生したニュージーランド子会社の外貨建借入金に係る為替評価差益309百万円を計上しました。

また、特別損失の子会社清算損79百万円は、キッチンキャビネットの製造、販売を主要な事業内容としていたマレーシアの子会社から日本国内の子会社に生産の集約化をおこない、平成25年12月、マレーシア子会社の清算手続きを開始したことによるものです。

（※）国際的な審査機関FSC®（森林管理協議会）のFM認証（森林管理認証）とCoC認証（加工・流通過程の管理認証）の総称/ライセンスNo.FSC-C043904

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、資産が4,369百万円増加、負債が259百万円増加、純資産が4,110百万円増加しました。主な内訳として、資産の増加は、主に売上の増加と受取手形割引高の減少により受取手形及び売掛金が1,788百万円増加、棚卸資産が221百万円増加、その他流動資産が286百万円増加、立木勘定が主に為替換算により増加したことから有形固定資産が1,779百万円増加しました。負債は、主に有利子負債（短期・長期借入金及び社債）が1,135百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,137百万円増加、繰延税金負債（固定）が356百万円増加しました。純資産の増加は、主に利益剰余金が958百万円増加、為替換算調整勘定が2,334百万円増加、少数株主持分が384百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間及び今後の動向を検討した結果、現時点において平成25年11月8日付「平成26年3月期 第2四半期決算短信」で発表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の移動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,404	6,716
受取手形及び売掛金	8,175	9,963
商品及び製品	6,202	6,214
仕掛品	2,207	2,331
原材料及び貯蔵品	6,838	6,923
繰延税金資産	265	51
為替予約	2,238	2,450
その他	526	812
貸倒引当金	△12	△24
流動資産合計	32,845	35,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,256	9,301
機械装置及び運搬具(純額)	8,060	8,316
土地	11,305	11,421
立木	16,497	17,847
その他(純額)	2,275	2,287
有形固定資産合計	47,395	49,174
無形固定資産	424	514
投資その他の資産	13,077	12,984
固定資産合計	60,897	62,673
資産合計	93,743	98,113
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,738	5,875
短期借入金	26,690	13,105
未払法人税等	490	170
引当金	361	25
その他	3,107	3,695
流動負債合計	35,388	22,872
固定負債		
社債	3,300	4,700
長期借入金	10,448	21,497
繰延税金負債	2,930	3,287
引当金	1,284	1,310
その他	477	421
固定負債合計	18,440	31,216
負債合計	53,829	54,088

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	19,359	20,317
自己株式	△2,131	△2,132
株主資本合計	32,367	33,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184	352
繰延ヘッジ損益	654	909
為替換算調整勘定	4,261	6,596
その他の包括利益累計額合計	5,100	7,859
新株予約権	239	248
少数株主持分	2,206	2,591
純資産合計	39,914	44,024
負債純資産合計	93,743	98,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	47,496	51,166
売上原価	31,346	34,652
売上総利益	16,150	16,513
販売費及び一般管理費	13,378	14,229
営業利益	2,771	2,284
営業外収益		
受取利息	19	32
受取配当金	31	41
受取賃貸料	116	124
その他	192	235
営業外収益合計	359	434
営業外費用		
支払利息	583	492
売上割引	354	378
為替差損	244	369
その他	320	289
営業外費用合計	1,502	1,530
経常利益	1,628	1,189
特別利益		
固定資産売却益	8	887
為替差益	421	309
投資有価証券売却益	7	—
その他	0	14
特別利益合計	438	1,211
特別損失		
固定資産売却損	12	31
固定資産除却損	5	47
投資有価証券評価損	43	—
子会社清算損	—	79
為替予約解約損	269	—
その他	28	4
特別損失合計	359	162
税金等調整前四半期純利益	1,707	2,237
法人税、住民税及び事業税	221	427
法人税等調整額	304	475
法人税等合計	526	902
少数株主損益調整前四半期純利益	1,181	1,334
少数株主利益	57	26
四半期純利益	1,124	1,308

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,181	1,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	168
繰延ヘッジ損益	936	283
為替換算調整勘定	1,228	2,665
その他の包括利益合計	2,262	3,116
四半期包括利益	3,444	4,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,100	4,066
少数株主に係る四半期包括利益	344	384

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。